



向陵広場

発行号 第137号
 発行日 令和6年3月26日(火)
 発行元 向陵編集校友会
 責任者 伊藤有司 (県商10回卒)

後輩の生徒にエールを贈る 久野 弥花 県商 65回 (平成 28年 3月)

第4回世界弓道大会(2月29日)日本チームの3連覇に貢献した久野さんが、終業式に母校を訪れ後輩にエールのメッセージを贈りました。



後輩にメッセージ



校長室にて

皆さんはじめまして、私は8年前に本校を卒業した久野弥花です。人前に立つのはとても緊張するので、うまく話せないかもしれませんが、聞いてください。先ほどご紹介をいただいたとおり、私は、日本代表として弓道の世界大会に出場し、優勝することができました。中学生の部活動で始めた弓道でしたが、まさか、世界大会に出られるなんて、その時には想像していませんでした。今日は私が日頃大事にしている2つのことを話したいと思います。

まず1つ目は、本番でもいつも通り、ということを大事にしています。スポーツはもちろんですが、例えば検定試験でも。試験の前に問題を解けなければ、当然、検定試験も解けないと思います。問題を解いて、違うパターンの問題も解いて沢山こなすことで、本番で同じような問題に落ち着いて対応できる。つまり、日頃、いつも通りやればうまくいく、そう思えるまで努力する。本番は、いつも通りやる。そうすれば勝てると思って取り組んでいます。

2つ目に大事にしている事はATMです。ATM?みんな大好き現金自動受け払い機ではありません。私の中のATMは明るく、楽しく、前向きにの頭文字をとってATMです。これは私が考えた言葉でなくて弓道のすごい先生がいたんですけど、その人から頂いた言葉です。

私はよく周りの人から、いつも楽しそうだねだとかいつも明るいねなんて言われたりします。それは自ら心がけていることです。私が楽しくしていることで、多分周りの人も楽しくなるんじゃないかなあ。と思っていつも過ごしています。それに加えて、前向きつまりポジティブです。私はどんなことでもポジティブに考えるようにしています。例えば、今回の大会前に、転んで膝に怪我をしてしまいました。もう痛くて最悪でした。でも、今悪い事が起こったからこそ、試合はうまくいくんだらうなあと考えたりします。また、弓道は左膝を浮かせて坐るのですが、その体勢が辛いです。でも、ちょうど怪我した左膝が坐っている時に浮かせなきゃいけないので、普段はあんまりやりたくないんですけど日本の代表としてはちゃんとできた方が恰好いいし、そのためのよい練習になるなあと思ってポジティブに考えていました。

なかなか、こんなにポジティブに考えられないよね。怪我して痛いから逆転というか、トラブルなんかも前向きに考えることで、こんな怪我也へっちゃらと思えることが大事なのかなって思っています。まともにはなかったかもしれませんが、私がいつも大事にしていること、いつも通り、ATM、を紹介させて頂きました。皆さんがそれぞれの分野で活躍される事を祈念して、私からの言葉とさせて頂きます。本日はお時間を頂きまして、ありがとうございました。